

ご あ い さ つ

ご来校いただいた皆様へ

台東区立駒形中学校長 木村 俊二



本日は、ようこそ本校にご来校いただきありがとうございます。このご来校が来年の4月から始まるお子様の希望に満ちた中学校生活へのご検討の一助となれば幸いです。学校見学に当たり、校長としての学校経営について所見の一端を以下に述べさせていただきます。

「子育ては 七つ教えて 五つ褒め 三つ叱って よい子は育つ」

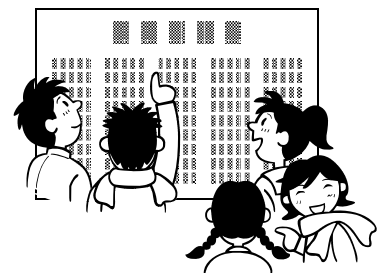
これは、子どもの健やかな成長を願う「七五三」の日にちなんで、あるお寺の入り口に書かれていたことばです。子どもの成長において、「学校と家庭は車の両輪」と言われます。そのためには、このことばの意味を学校と家庭が共通に理解し、お互いが信頼し合いながら子どもの教育に当たることが大切だと思っています。そして、私は、この考えを学校経営の基調として、教職員と共に本校の教育活動の充実を進めています。

本校の教育の特色をひとことで表すならば、「小規模校のよさを生かしたきめこまかな教育の推進」です。

小規模校のよさを挙げるとすれば、何よりも生徒一人ひとりの「活躍の場」が多いということです。その一例として、まもなく国立競技場で行われる区立中学校の連合陸上大会をあげることができます。本校からは、全校で約60名ほどの代表が参加しますが、その数は本校生徒の約3分の1にあたります。これは、大規模校では考えられない数字です。国立競技場という晴れの舞台上で走れるということは、おそらく生涯の思い出になるでしょう。そしてまた、そのことがその生徒にとって大きな自信にもなるでしょう。そしてこの自信は、さらにその後の中学校生活にもプラス効果をもたらします。このような「活躍の場」は、学校行事をはじめ教育活動のさまざまな場面にあります。心理学でも、自分に対する自信、別なことばでは「自己有用感」とか「自己肯定感」と言いますが、それを獲得する経験が多ければ多いほど、人間の成長にとって好ましいと言われています。

このような小規模校のよさを生かしながら、本年度、本校で特に力を入れていることを3つ紹介します。

1つ目は、進路指導の充実です。本校の生徒は全員高校進学を希望しています。そして、私が高校進学に当たって最も大切だと考えているのは、何よりも、「全員を第一志望の高校に進学させること」です。そのために、本校では、「進路フェア」への参加はもとより、2年生の夏休みに「高校訪問」を行うとともに、3年生になると年間4回の進路に関わる「三者面談」、年間3回の「学力到達度テスト」などの取組を行い、「自分の学力



や個性に合った高校選び」をさせます。また、私は、都立及び私立高校の推薦試験に備え、2学期後半から3年生全員に対する「面接練習」を最低2回以上行います。

(昨年度の3年生の中には、5回行った者もいました。)このような取組を通じて、この3月の卒業生は、都立高校一次試験発表の日に全員の進学先が決定し、全員笑顔で卒業式を迎えることが出来ました。なお、都立高校の推薦試験では、志望した生徒の5割がみごと合格できました。

2つ目は、学力向上を図ることです。そのために、本年度から、以下の3つの取組を新たに行っています。

(1) 朝学習の5分延長

本年度から朝学習の時間を5分延長し、15分間としました。この朝学習の時間には、全員の教員が教室に入り、学習指導に当たります。この結果、生徒たちは、通常の教科学習の時間数に加えて、毎週4日間、1週間で1時間、毎月で4時間、年間では約40時間の学習をさらに受けることとなります。



(2) 家庭学習(宿題)の習慣化(駒中スタディ)

全国学力調査などの結果から、学力向上のためには「家庭での学習の習慣化」が不可欠と言われています。このことを受けて、本年度から、各教科とは別に学年ごとに宿題を出す「駒中スタディ」を始めました。月曜日に一斉に課題を示し、木曜日に提出させ、点検し、未提出者は放課後学習を行っています。

(3) 定期テスト期間中の放課後学習

各学期に行われる中間テストや期末テストの日も給食を用意し、午後から1時間程度学校に残り、試験勉強を行います。生徒たちは、先生方の指導の下、それぞれの不得意教科など次の日の試験科目を学習します。

3つ目は、きめこまかな生活指導の充実です。現在、本校の生徒数は185名ですが、校長・副校長を含め17名の教職員と東京都の非常勤講師5名、区の学力向上推進ティーチャー3名、さらに柔道・ダンスや部活動の外部指導員4名、合わせて29名の教職員が指導に当たっています。ほとんどの教職員が全校生徒の顔と名前を覚えていしますので、きめこまかな生活指導が出来ます。その結果、昨年度は全校で不登校生徒はゼロでした。

以上、本校の教育について、その一端を紹介させていただきました。

本校は、従来から「部活動と学校行事がさかんな学校」との評価をいただけてきました。この伝統は、現在も脈々と受け継いでいます。(その様子は、本校のホームページをご覧くださいと思います。)そしてこれからもさらに発展させていきたいと思っています。そのためにも、さらに多くの入学者を迎え、より活気のある学校にしていきたいと願っています。どうか、本日のご来校を機に、お子様のご入学を心よりお待ち申し上げます。なお、学校公開終了後も、随時、学校訪問を受け付けておりますので、その際には事前のご連絡をお願いいたします。

本日のご来校、あらためて心よりお礼申し上げます、私のご挨拶といたします。